

2003年3月期 業績概要

2003年4月25日
アンリツ株式会社
取締役経理部長 橋本 裕一

2003年3月期 業績概要

(1)損益・キャッシュフロー

単位:億円 ()は前年同期比増減額

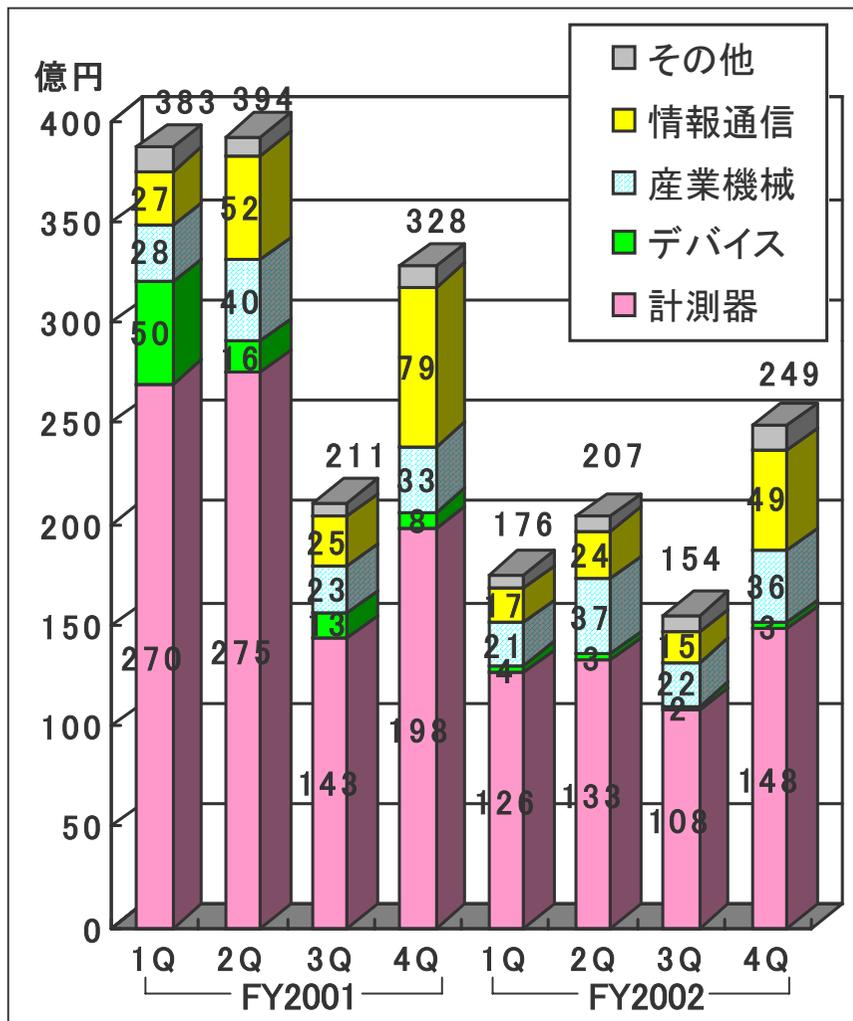
	2002年度		2001年度	
	連結	単独	連結	単独
売上高	786 (△530)	448 (△462)	1,316	910
営業利益	△107 (△183)	△123 (△173)	76	50
経常利益	△138 (△187)	△135 (△187)	49	52
税引前利益	△352 (△415)	△297 (△357)	63	60
当期利益	△328 (△354)	△273 (△308)	26	35
FCF	△149 (△55)	△181 (△187)	△94	6

(2)事業セグメント別(連結)

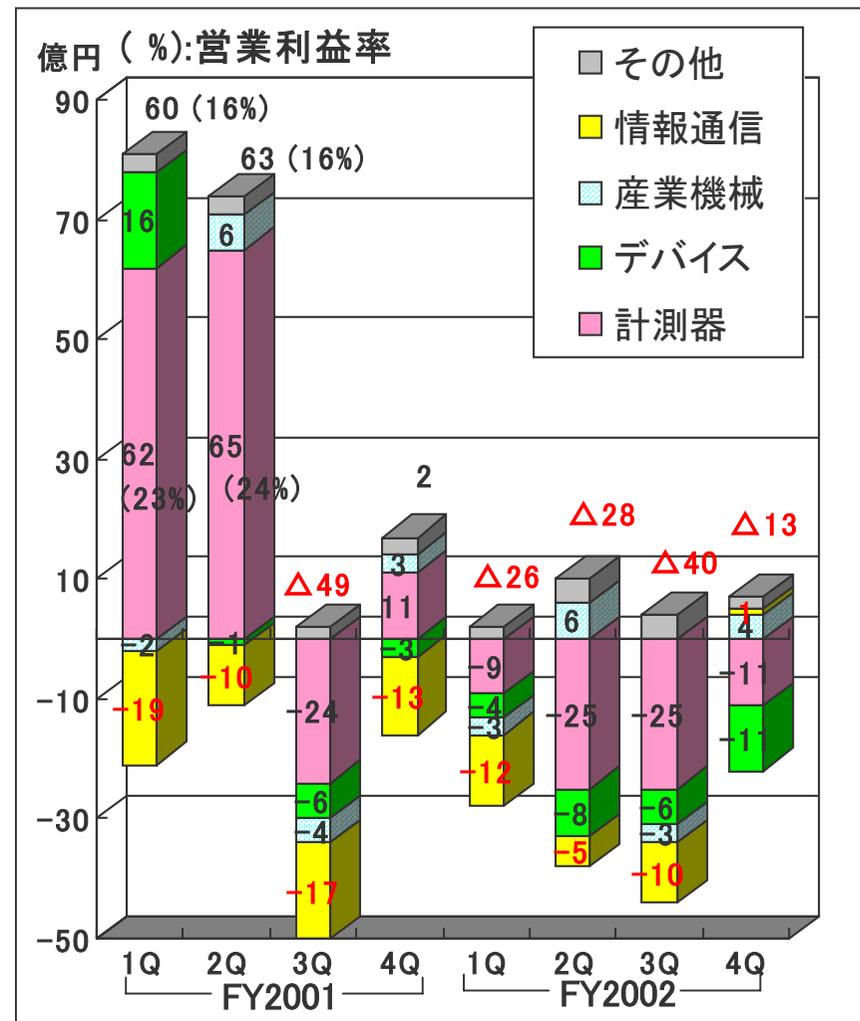
単位:億円 ()は前年同期比増減額

	2002年度		2001年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
計測器	518 (△368)	△69 (△183)	886	114
情報通信	106 (△77)	△25 (34)	183	△59
産業機械	116 (△7)	4 (1)	123	3
デバイス	12 (△74)	△28 (△35)	86	7
その他	34 (△3)	11 (0)	37	11
計	786 (△530)	△107 (△183)	1,316	76

事業セグメント別業績(四半期比較)



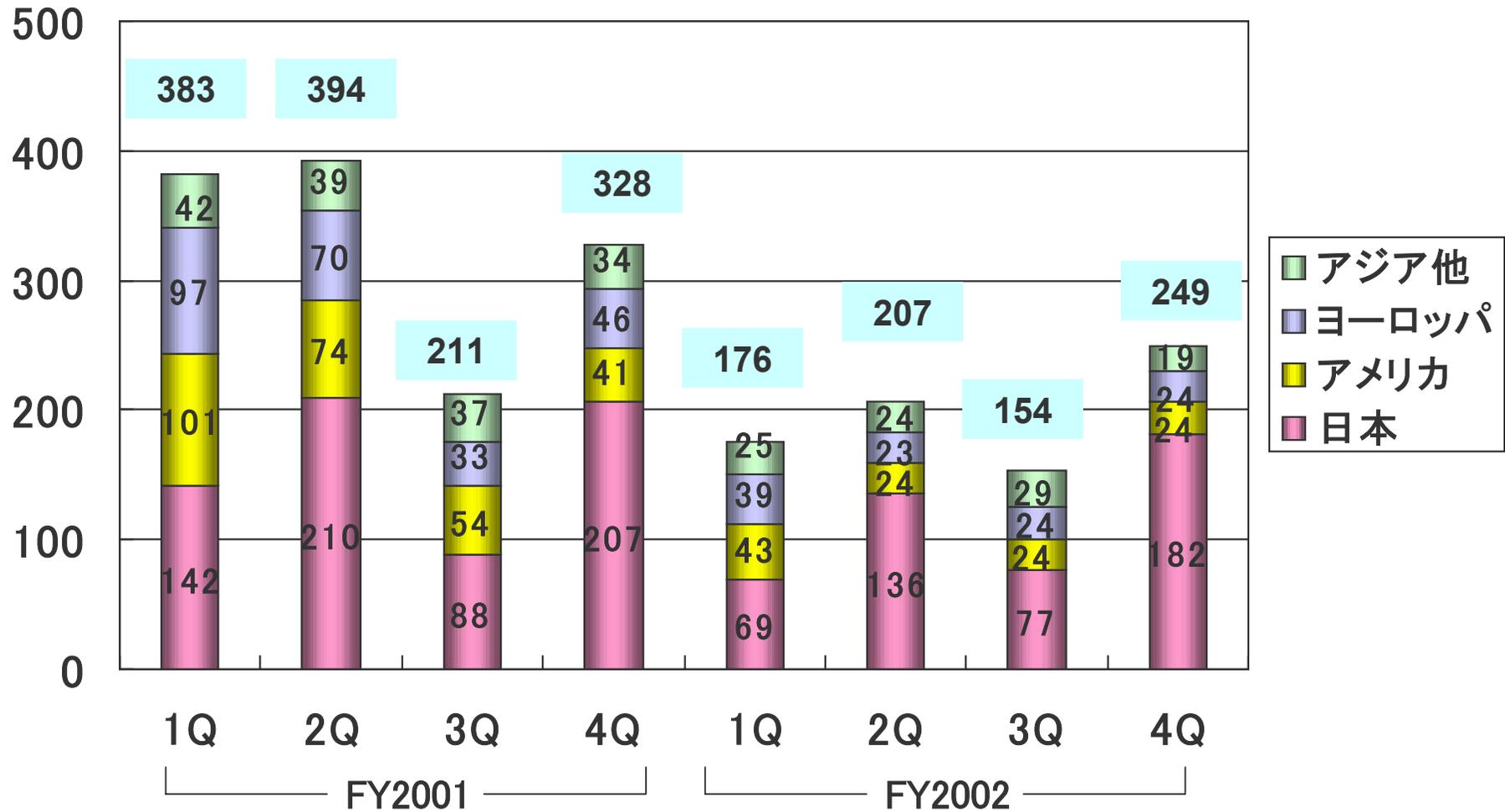
売上高



営業利益

地域別売上高推移（四半期ベース）

単位：億円



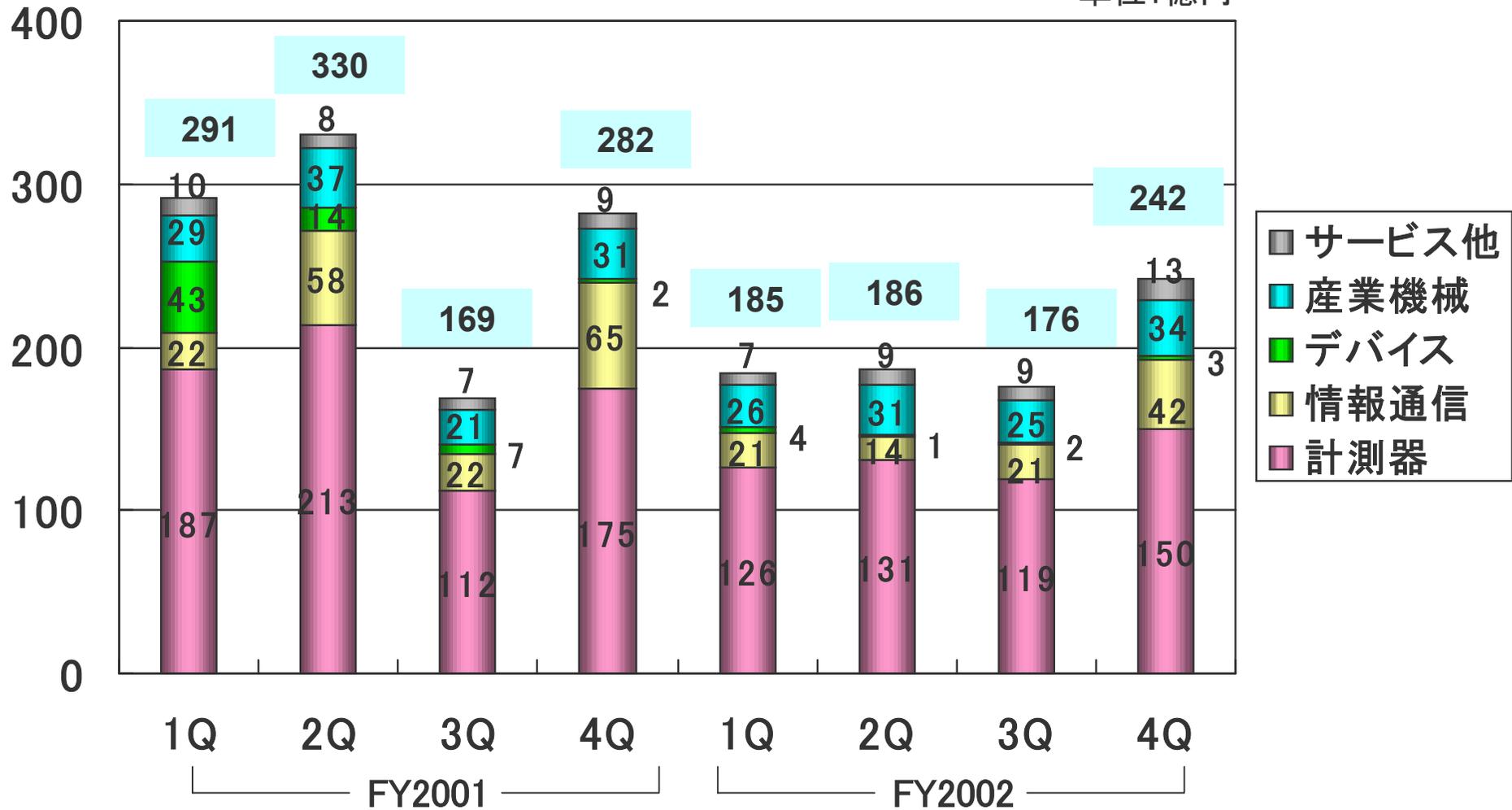
営業外・特別損益概要(連結)

(百万円)

	上半期		通期	
	2001/9 実績	2002/9 実績	2002/3 実績	2003/3 実績
営業利益	12,322	△5,441	7,585	△10,748
金融収支	△430	△617	△908	△911
棚卸資産廃棄等	△1,441	△1,059	△2,673	△1,174
為替差損益	△657	△165	1,345	△82
その他	△63	33	△405	△886
営業外損益計	△2,591	△1,808	△2,641	△3,053
経常利益	9,731	△7,249	4,945	△13,801
退職給付関係	1,387	6,229	1,387	6,229
特別退職金		△5,044		△11,341
棚卸資産評価損等		△13,173		△14,902
その他	261	3	△63	△1,384
特損益計	1,648	△11,985	1,324	△21,398
税引前損益	11,379	△19,234	6,269	△35,199

セグメント別受注推移（四半期ベース）

単位：億円



2004年3月期 年度業績見通し

(1)損益・キャッシュフロー

単位:億円 ()は前期比増減額

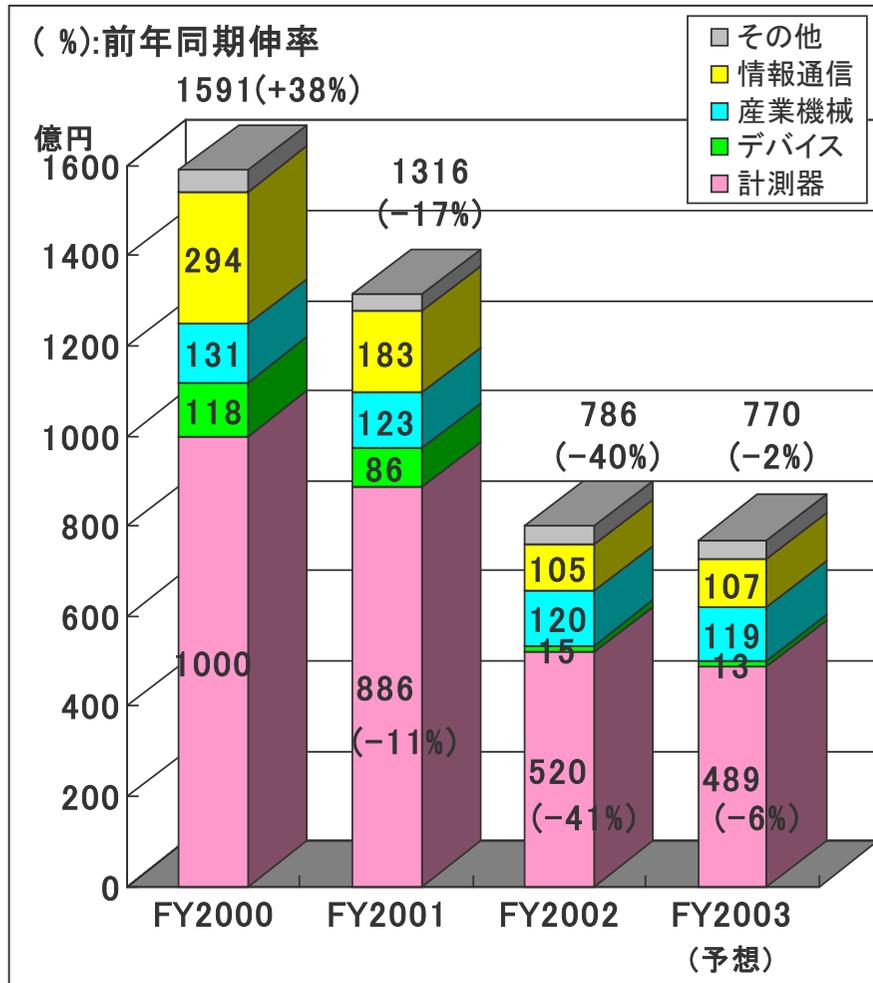
	2003年度(予想)		2002年度	
	連結	単独	連結	単独
売上高	770 (△16)	460 (12)	786	448
営業利益	16 (123)	0 (123)	△107	△123
経常利益	△34 (104)	△38 (97)	△138	△135
税引前利益	14 (366)	10 (307)	△352	△297
当期利益	10 (338)	10 (283)	△328	△273
FCF	35 (184)	40 (221)	△149	△181

(2)事業セグメント別(連結)

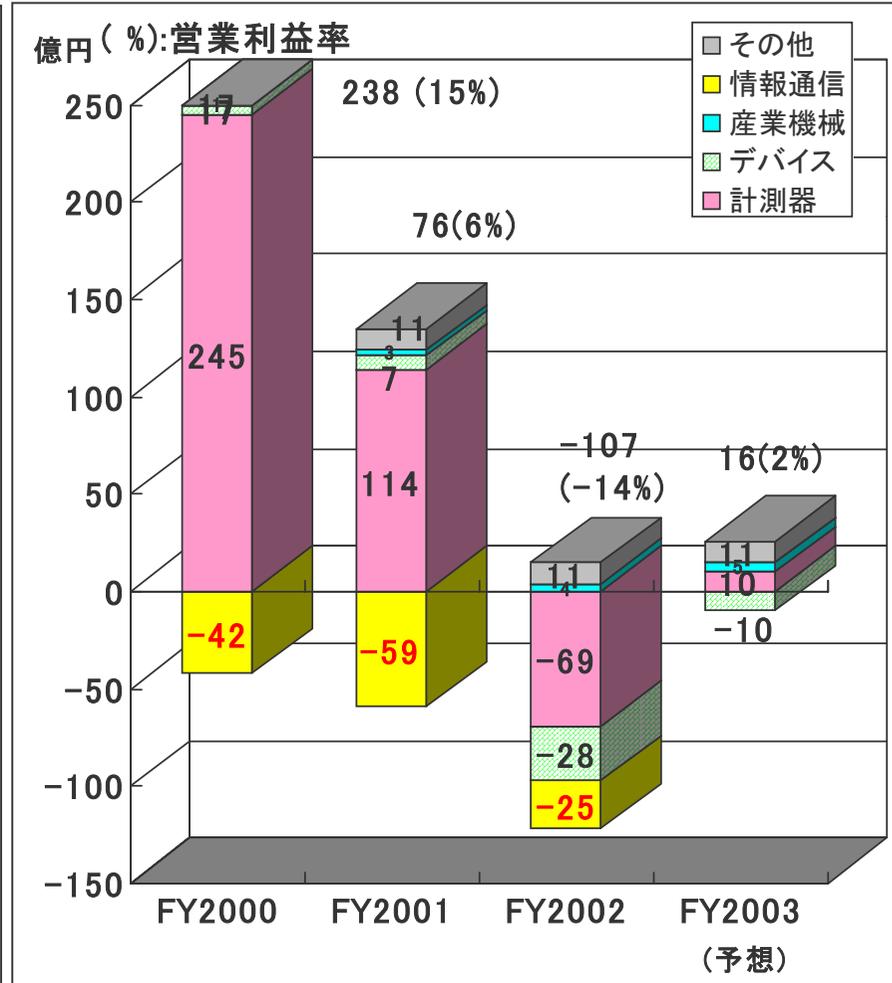
単位:億円 ()は前期比増減額

	2003年度(予想)		2002年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
計測器	489 (△29)	10 (79)	518	△69
情報通信	107 (1)	0 (25)	106	△25
産業機械	119 (3)	5 (1)	116	4
デバイス	13 (1)	△10 (18)	12	△28
その他	42 (8)	11 (0)	34	11
計	770 (△16)	16 (123)	786	△107

事業セグメント別業績見通し(年度比較)



売上高



営業利益

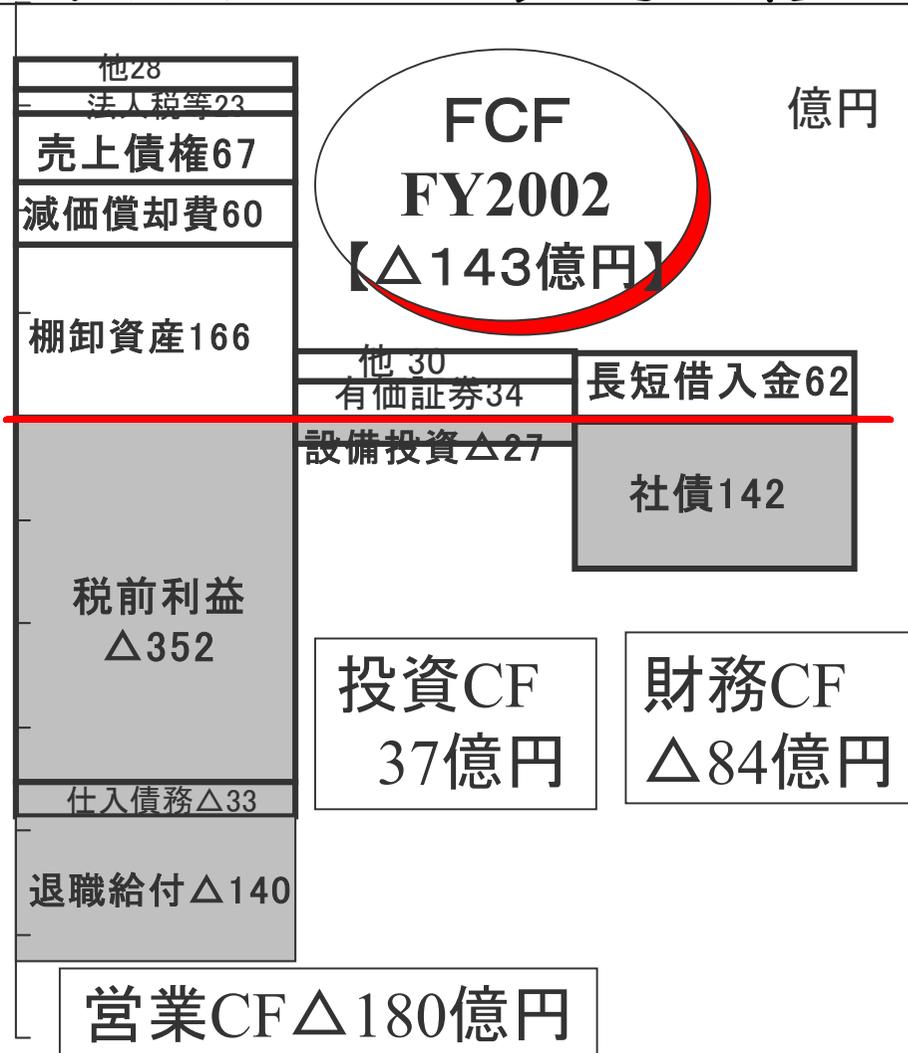
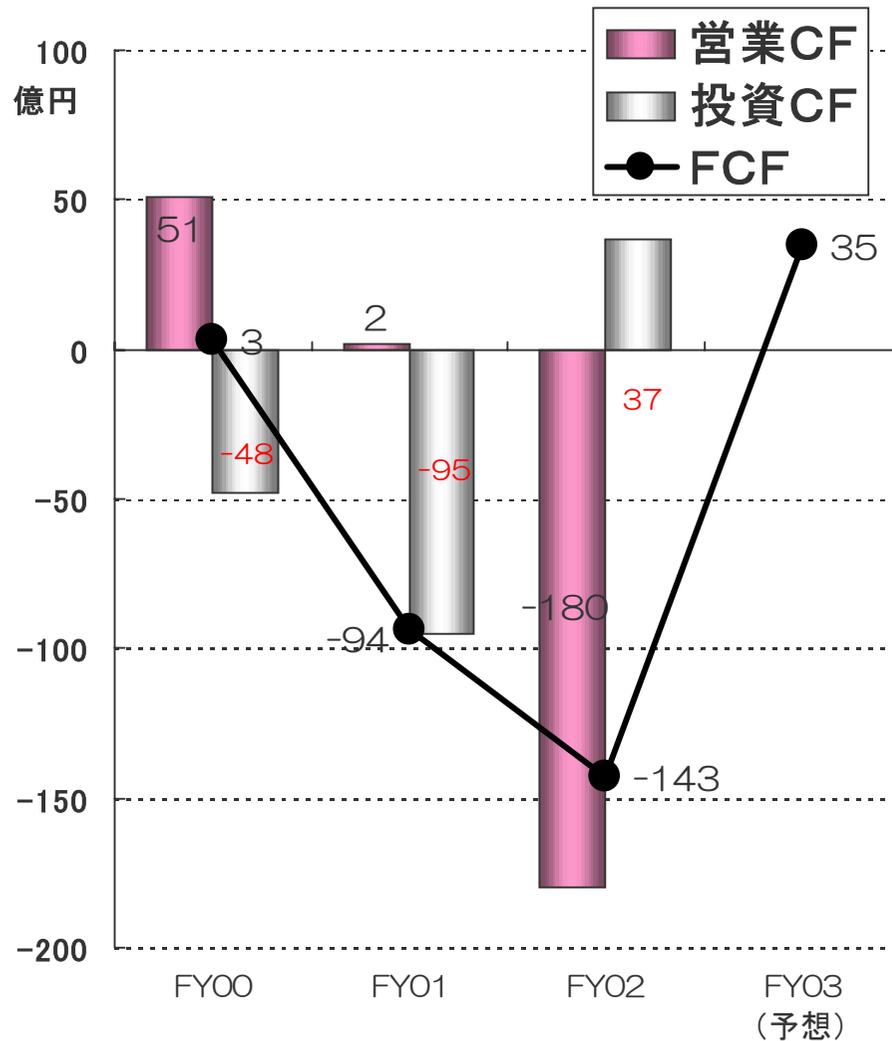
連結キャッシュフロー計算書

	FY2000	FY2001	FY2002
1. 営業活動によるCF	51	2	△180
税引前利益	156	63	△352
減価償却費	55	67	60
売上債権	△154	297	67
棚卸資産	△124	△14	166
仕入債務	99	△219	△33
運転資本計	△179	64	200
退職給付費用関連	48	△23	△140
法人税等	△43	△134	23
2. 投資活動によるCF	△48	△95	37
有価証券・投資有価証券	11	15	34
設備投資	△59	△90	△27
事業売却収入			32
フリーキャッシュフロー(1+2)	3	△93	△143
3. 財務活動によるCF	1	244	△84
借入金純増減	13	117	62
CB・SB発行(償還)		150	△142
配当金の支払	△11	△17	△4
現預金の期末残高	244	396	168

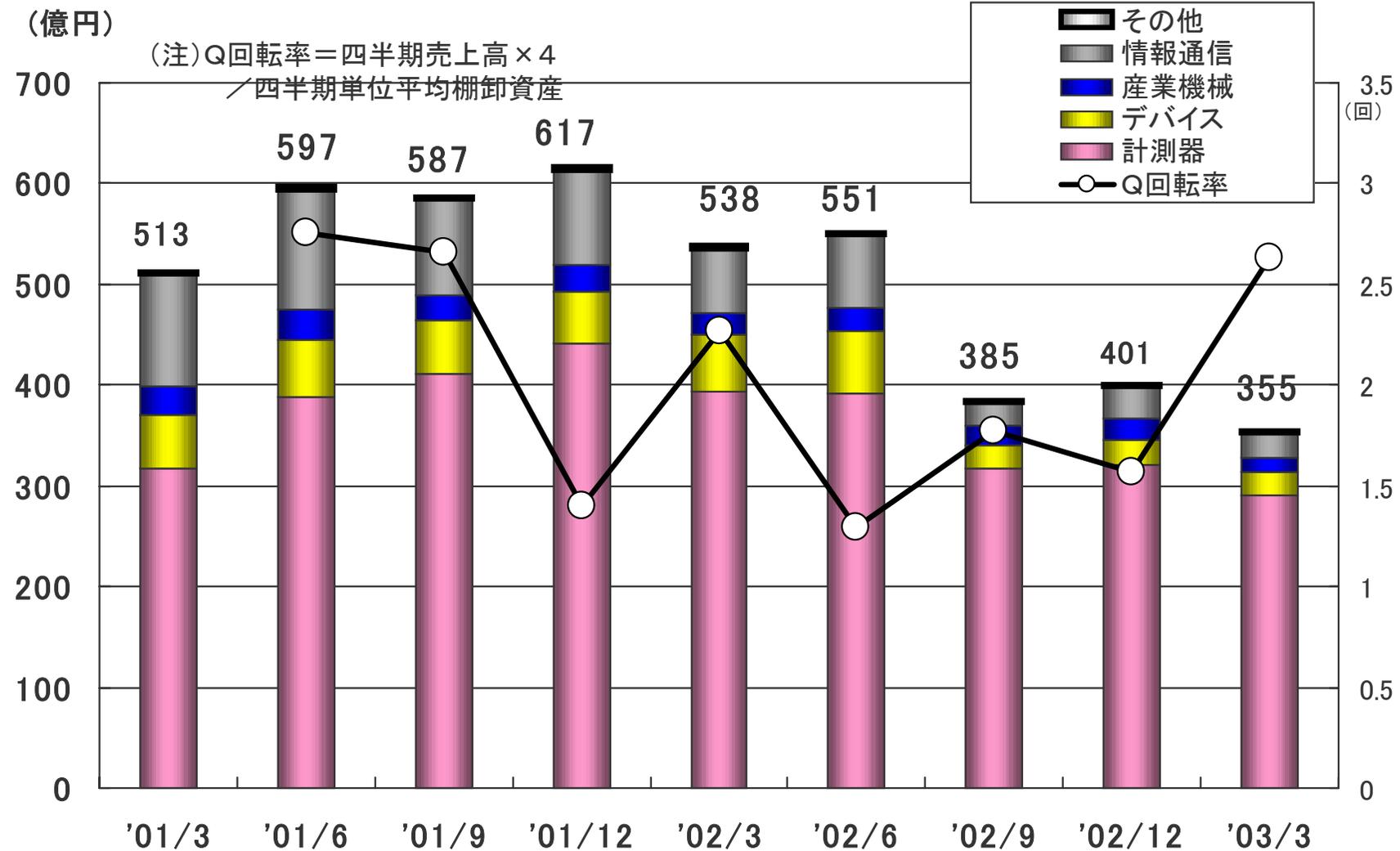
(億円)

主な項目
のみ表記

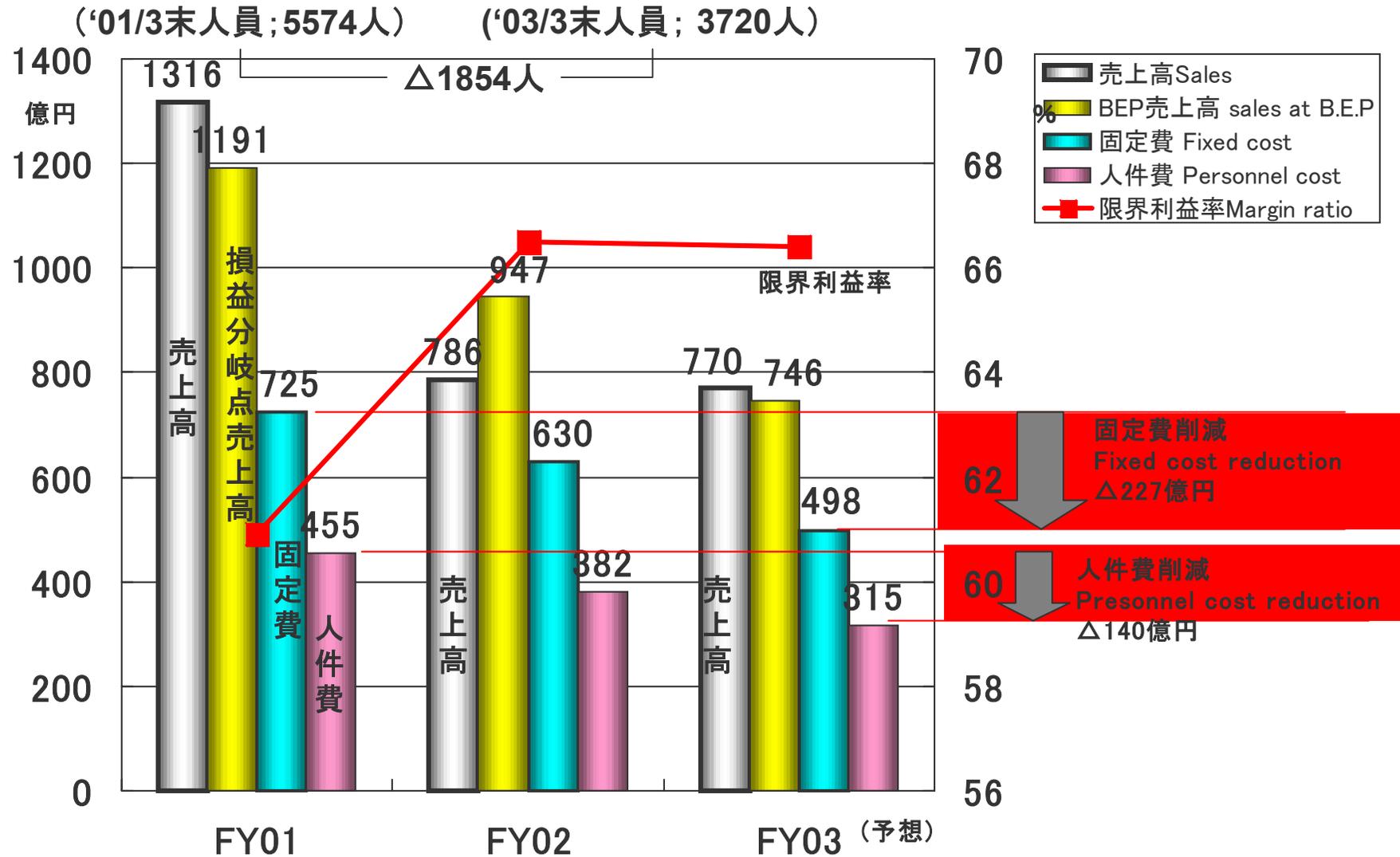
連結FCF（フリーキャッシュフロー）推移



棚卸残高推移(連結)



利益・費用構造の改善(連結)



中期経営計画

2003年4月25日
アンリツ株式会社
社長 塩見 昭

アンリツの事業を再構築

FY2002: 当期利益▲328億円

事業縮小に伴い、組織スリム化を含む経営構造
改革を実施

FY2003:

売上高の現状維持の中で、営業利益を黒字化

FY2004～5:

中期経営計画の基に、事業発展を目指す

目次

1. ユビキタスネットワーク時代の幕開け
2. 事業領域とコア技術
3. 基本方針
4. 経営目標
5. 事業戦略
6. 財務戦略

3. 基本方針

顧客価値を創造するという観点から事業を再構築し、「知の製造業」への転換を推進

- 中核事業の強化：ユビキタスネットワーク関連事業
- 周辺事業の強化：インダストリアル エレクトロニクス、セキュリティ関連事業
- 新事業の立上げ：環境関連事業

4. 経営目標(2005年度)

- 連結売上高1,000億円 (2003年度見通し 770億円)
- 営業利益100億円 (2003年度見通し 16億円)
- ROE10% 以上 (2003年度見通し 1.7%)
- ACEの黒字化 (2003年度見通し▲50億円)

5. 事業戦略(1/6)

● Mobile & Internet関連事業(1/2)

1. 無線通信計測：第3世代携帯電話＋ユビキタスネットワークの計測で世界のトップランナーを目指す

(1) 移動通信計測

- ・第3世代携帯電話の計測事業を世界展開
- ・3.5世代(HSDPA)携帯電話の計測技術を世界に先駆けて開発

HSDPA送信機テスタ



(2) 通信プロトコル解析

- ・シグナリング(プロトコル)テスタの適応領域を拡大

シグナリングテスタ



(3) デジタル放送計測

- ・RF/IP/光計測技術を融合し、開発から製造・保守分野での計測事業を育成

デジタル放送信号発生器



5. 事業戦略(2/6)

● Mobile & Internet関連事業(2/2)

2. IP通信計測：協業による高次レイヤ対応とコア技術を活かし、 事業の拡大を図る

(1) ルーター計測

- ・高次レイヤ対応により、次々と進化する
IPネットワーク機器の評価



データクォリティアナライザ

(2) メトロADM計測

- ・SDH/SONET・Jitter・プロトコル解析技術の融合により、
次世代メトロネットワークの試験

(3) Mobile IP計測

- ・プロトコル解析・無線技術の融合により、Mobile IP
ネットワークの試験

(4) IPネットワークモニタリングによるサービス事業を育成

5. 事業戦略(3/6)

- **インダストリアル エレクトロニクス関連事業:**
世界に誇るコア技術を生かし、事業の拡大を図る

1. RFマイクロ計測

- **新コンセプトのMasterシリーズ:**
高性能を維持しつつハンドヘルド化
- **超高周波(65GHz)コンポーネント:**
宇宙・航空通信等の開発のキーデバイス
- **広帯域ベースバンド信号処理技術によるブロードバンド計測器**



Masterシリーズ

2. RF半導体計測

- **ICテスト:無線・プロトコル解析技術による携帯端末用
oneチップデバイスの計測**

3. 精密計測

- **印刷はんだ検査機:光マイクロ測定技術を用い、微細部品
印刷はんだを、三次元で高速・高分解能計測**



印刷はんだ検査機

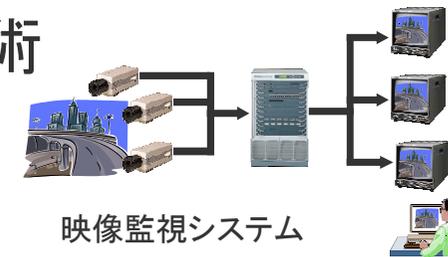
5. 事業戦略(4/6)

●セキュリティ関連事業：“安全”と“安心”を届ける

1. 映像監視

・道路・河川監視システム：

リアルタイム・高速画像転送のプロトコル技術
システムの堅牢性を高める冗長性機能



2. 食品・薬化品の品質検査

・品質検査システム：X線・画像処理技術による異物検出

・バイオセンサ：

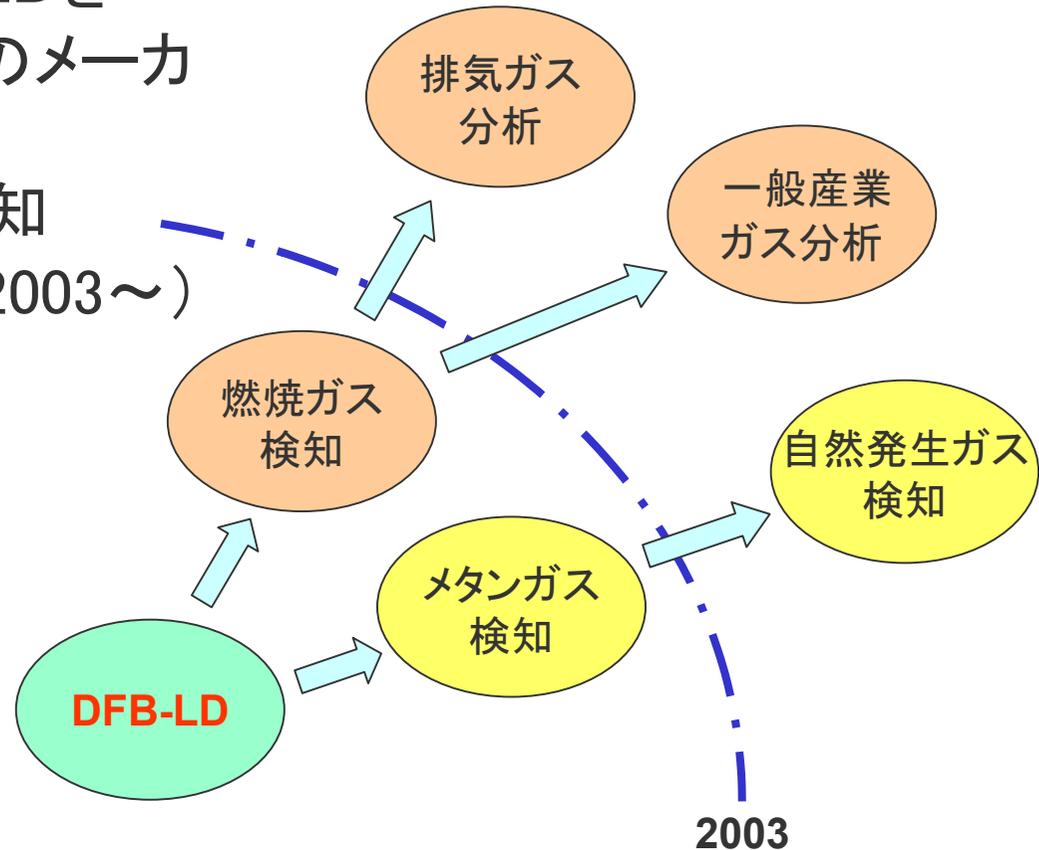
事業基盤確立（～2005）、事業展開（2005～）



5. 事業戦略(5/6)

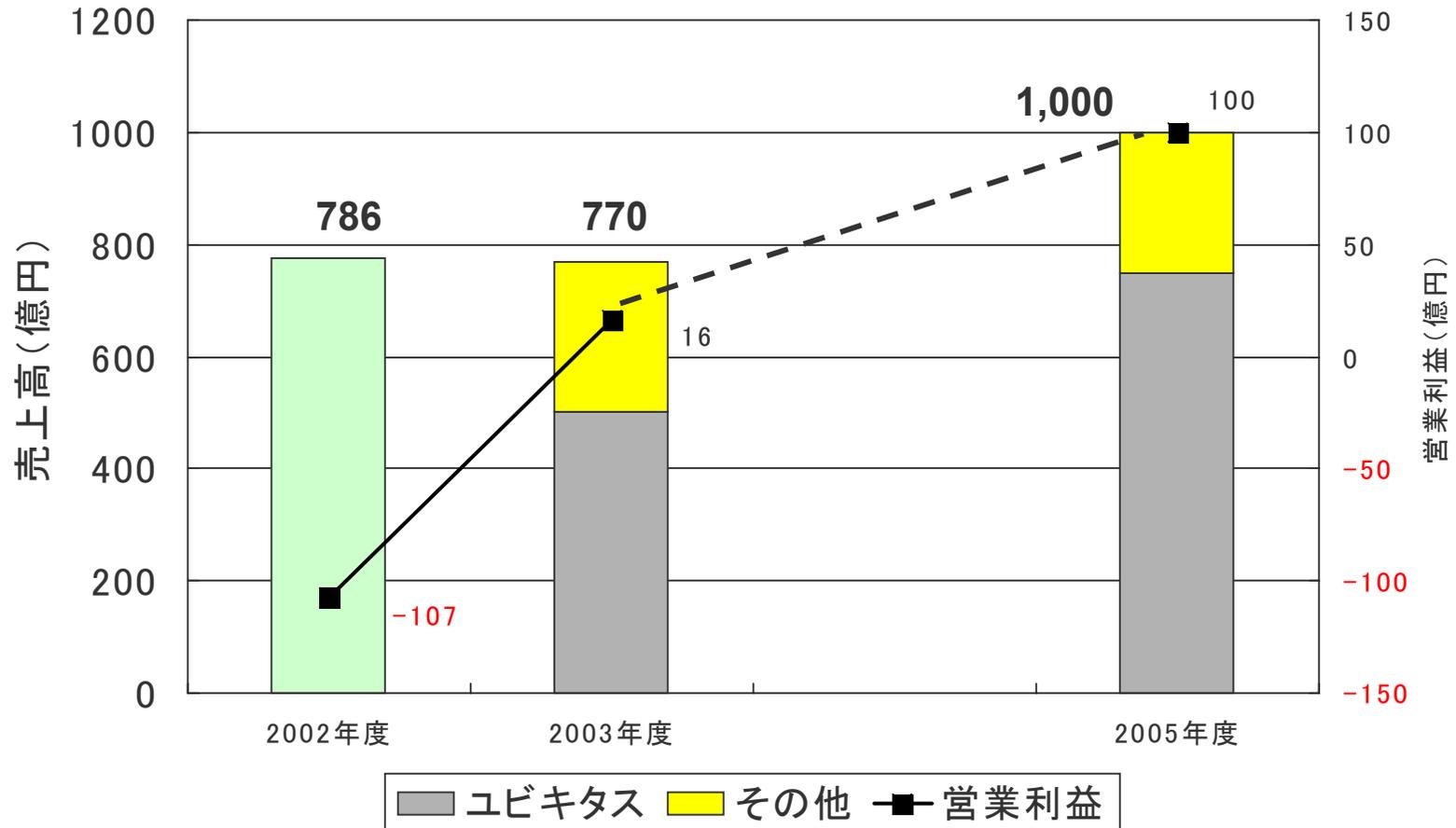
●環境関連事業：“命”と“環境”を守る

- 当社は、ガス検知用DFB-LDを
実質的に供給できる唯一のメーカ
- 事業基盤確立(～2003)
- DFB-LDを活用したガス検知
/分析システムの事業化(2003～)



5. 事業戦略(6/6)

売上高・営業利益計画

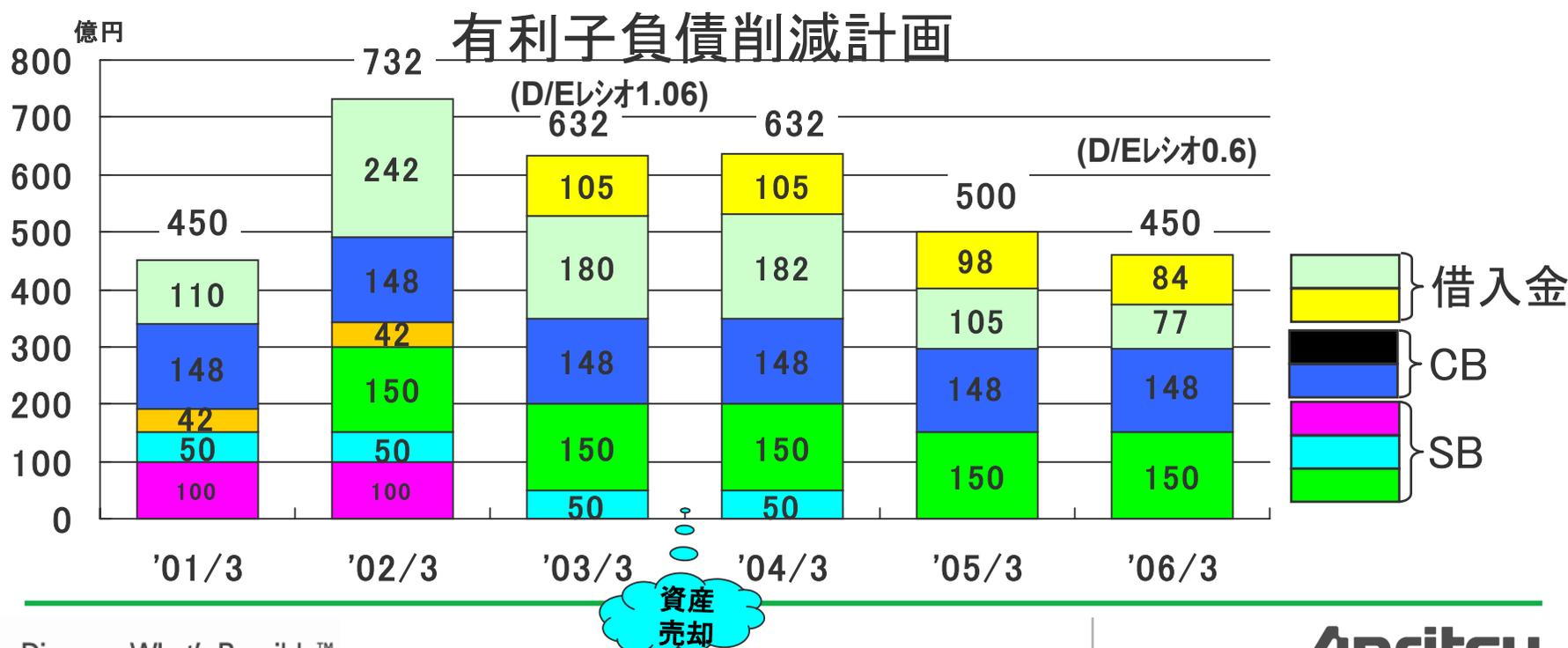


6. 財務戦略(1/2)

1. 有利子負債の削減による財務体質改善

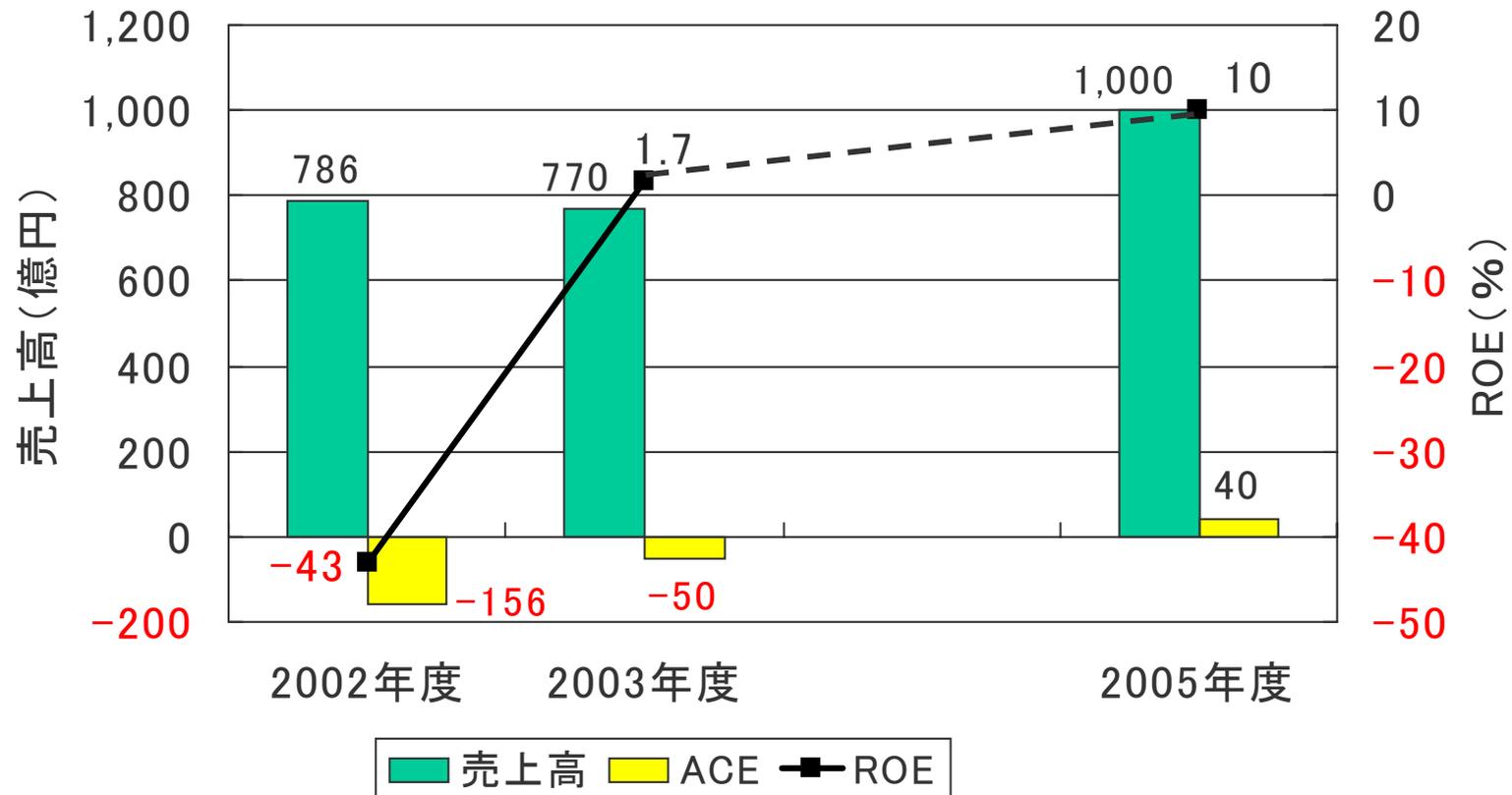
- ・保有資産の売却、運転資本の効率的運用によるキャッシュ創出

2. 資本効率(ACE、DCF)を重視した投資選択の決定



6. 財務戦略(2/2)

ROE、ACE計画



注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、北米、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。